

眞珠灣攻撃合同調査委員會記録合衆國々會、第七十九議會第一會期

R、K、ターナー提督ノ證言、一九四五年十二月二十日（木曜日）  
ヨリノ抜萃

ターナー提督

ソノ御質問ノオ答ヘトシテ、私ハアメリカ、英國及和蘭當局内閣ニ行ハレ  
タスベテノ會議（五二八）ノ概略ヲオ話シスルコトガ好カラウト思ヒマス、  
「シンガポール」ニオケル英國トノ最初ノ交渉ハ泰國へ十月二十三日頃、  
行ツタ我ガ大使館附武官「トーマス」海軍中佐ガ行ヒマシタ

副議長

ソレハ何年デスカ

ターナー提督

一九四〇年十月デシタ。ソレハホンノ探リヲ入レタダケデシタ。十一月  
十一日ニ海軍作戦部長カラノ電報ニ應ジテ「ハイト」提督ノ幕僚長「バ  
ーネル」海軍大佐ガ「シンガポール」へ行キ彼等ト試行的會談ヲシマシタ

ガコノ味ハ何等ノ公約ヲモセヌヤウ指令サレテ居リマシタ。コノ二ツノ予  
 備會議ニ關シテ製作サレタ書類ハアリマセン  
 次ノ會議ハ今讀マレタシタ書類ノ意向ニ應ジテ行ハレタノデスガ一九四一  
 年一月十四日カラ十六日マデ「バタビヤ」デ和蘭軍總司令官ト「バーネル」  
 海軍大佐ノ間ニ行ハレマシタ。コレヲノ會談ノ結果ノ大略報告ガコノ書類  
 デアリマス、ソシテ私ハマダ辯護團ハ御覽ニナラナイト思ヒマスガ最近ソ  
 ノ會談ノ記録ヲ手ニ入レマシタ。シカシソレニハ特別私ノココニ附言スベキ  
 キコトハ記載サレテ居リマセン  
 ソレカラ我々ハ、英國ト和蘭ガ迷ニ「シンガポール」デ一九四一年二月ノ下  
 旬ニ會議ヲスルコトニナツタトイフ知ラセヲ受ケ取りマシタ、「バーネル」  
 海軍大佐ハコノ英蘭會談ニ出席シ勿論政治的或ハ具體的軍事公約ハ行フコ  
 トナクニ試驗的命令方法ヤ合同又ハ個別ノ試驗的作戰方法及地域ニ對シ  
 又通信技術ヤ情報ノ交換ニ關シ營意ヲ表スル權限ヲ與ヘラレテキマシタ  
 コノ會談ノ結果ハ大シテ決定的ノモノデハアリマセンデシタ。  
 次ノ會議ハ「シンガポール」デ一九四一年四月十九日開カレマシタ

コノ會議ニツイテハソノ開催ヲ命ジタ手紙一通及コノ會議ニ關シテ英國參謀長カラノ手紙符電報ガ一通アリマス。只今辯護國ガ提出セラレタコノAOB案文ハソノ會議ノ結果デアリマス。

ミツチエル氏

ソレハ證據第五〇號デス

ターナー提督

コノ案文ニハ多クノ反對スベキ點ガアリ、一九四一年七月三日海軍作戰部長及陸軍參謀總長ハ當地ニオケル英國合同參謀委員會宛手紙ヲ以テコノ草案ヲ全面的ニ拒否シ我々が改メテ意見ノ一致ヲ見ウルヨウナ指令ヲ出サレシ事ヲ要請シマシタ

要スルニ反對ハハニツアツタノデス。第一ハソノ草案中ニ我々ニトツテ望マシクナイ政治的ナ含意ガアル限界線デアリマス、モウ一ツノ反對ハ一九一—一九一ソノ計畫ガ余リ現實的デハナク、多クノ點ニ於テ諸國間ノ協力ヲ促進サセルトハ思ハレナカツタコトデアリマス

ミツチエル氏

失禮デス。今提督ノ言サレタ一九四一年七月三日附海軍作戰部長及陸軍

參謀總長カラノ「シンガポール」提案ニ反對シタ書翰ハ書證第六十五號ト

シテ既ニ提出サレテキマス

ドウゾオ續ケ下サイ

ターナー提督

右ノ具議提出ノ結果トシテ當地「ワシントン」デ我が代表及英國代表トノ  
間ニ會談ヲ重ネタ後、英國參謀長ハーツノ協約ノ草案ヲ提案シタ「ADB12」  
ト題スル文書ヲ提出シマシタソノ日附ハ一九〇一年八月デアリマス、コノ  
提案ハ全面的ニ望マシイトイフモノデハナカッタガ我々ノ考ヘニ近ヅイテ  
キマシタ、ソノ協約草案ニ基ク交渉ハ十一月ニ新任英國極東司令官「フイ  
リップス」提督ノシンガポール到着マデハ進行遅々タルモノデアリマシタ  
フイリップス提督ハ数人ノ參謀將校ト共ニ「マニラ」ヘ行キ、ソコデ我々  
主腦者、主トシテ「ハート」提督ト會談ヲナシ、「ハート」提督ハ、彼ノ  
日附デハ十二月六日コチラデハ十二月五日ニ我々ニ電報ヲ寄越シ、一兩日  
中ニ起ルベキ戰爭ニ備ヘテ司令ソノ他ニツイテ、フイリップス提督ト打合  
セタコトヲ通知シテマシタ。

ソノ打合せハ、幾分ノ修正及ビ注意書ヲ附シテ十二月七日ニ海軍作戦部長ニ承認サレ、コレハ單ニ海軍ノミノ協定デアリマシタカラ——八日ニ電報ガ發セラレタノデス

コレラノ書類ノ中ニハ政治的或ハ具体的ナ軍事公約ハ全然アリマセンデシタ、コレハ行動計畫デアリ、或ハ合衆國ガ參戰シタラトイフ假定ニ基ツク行動計畫トモイヘルモノデ、ソノ時關係當局ノ承認ヲ得テ始メテ有效トナルモノデアリマシタ、海軍長官陸軍長官大統領等ハ國務長官ト同シクコノヤウナ會談ガ時々開カレタコトヲ承認シテハキマシタガ A D B 書類ハ一ツモコレラノ人々ニハ提出サレナカツタノデス

一九三一頁——一九三三頁 「眞珠灣攻撃」第四部